

圏域名	但馬圏域
会 議	地域医療構想調整会議 平成 29 年度 第 3 回
日 時	平成 29 年 10 月 12 日 (木) 14 : 00 ~ 16 : 00
場 所	豊岡総合庁舎 401 会議室
議 長	田中洋会長 (豊岡市医師会長)
出席者	欠席 : 枚田部会員、砂治部会員、日下部部会員 代理人が出席 : 後藤部会員、小畑部会員、古家部会員 以外は、別紙構成員名簿のとおり本人出席 ※但馬圏域医療機関等連絡会議と合同開催
議事次第 概 要	〈合同会議の協議事項〉 1 第7次保健医療計画の圏域計画の改定について (1)保健医療計画改定スケジュール (2)兵庫県保健医療計画の改定の概要(案) (3)但馬圏域重点推進方策(案) (4)在宅医療等の新たなサービス量及び推進方策 〈医療部会(調整会議)の協議事項〉 ※非公開で開催 2 公立八鹿病院の地域医療支援病院の継続承認について
内 容	〈議事 1〉 ◇議事 1 (1)(2)(3)について 事務局より資料に基づき説明後、意見を提出の団体(但馬三齒科医師会、八鹿病院、但馬長寿の郷、豊岡健康福祉事務所)から意見の趣旨等が説明され、部会員等に意見を伺った。 また後日、別途意見がある場合は、指定期日までに意見票をメール又は F A X で提出することを依頼した。 本日の意見と後日意見票で提出された意見を踏まえ、但馬圏域重点方策(案)を加筆・修正し、11 月中にとりまとめ、各部会員等に配布し、次回 1 月の会議で再度確認することとした。 【主な意見・質疑】 ○計画案の大枠について (連絡会議構成員) 但馬全域がへき地に準ずる地域。但馬の医師確保は、養成医、派遣医の制度はあるが、最も大事なところは定着するという。但馬全体でどうするかという視点を持って議論することで発展的なものになる。 (連絡会議構成員) 計画改定にあたって、国で医療圏の基準が示される中、但馬は面積が広く見直すに見直せない医療圏域である。広大な面積を持ち、人口が少なく、医師不足が起こっている但馬圏域の厳しい条件の中で、医療の 5 疾病 5 事業をどう確

保するのか、その厳しさを地域の特性等で記載して欲しい。
(連絡会議構成員) 但馬の医療圏の中で解決の出来ること、出来ない問題を整理して、具体的によりよい方向に持って行けるように提案することが大事。

○但馬の周産期医療体制について

(部会員) こうのとり周産期医療センターを整備した中で、八鹿病院が産婦人科医師の不足を要望するのはどう理解するのか。

(連絡会議構成員) 広大な面積を有する但馬圏域で、1箇所に対応出来るわけがない。出産を継続するとした八鹿病院の産科医不足を訴えている。

(部会員) 周産期医療センターの整備に至った経緯は、医師の問題があり、集約化することで医師、症例が集められると計画が始まった。集めた医師をサテライトに八鹿病院へも派遣することで、但馬の患者の利便性も損なわれず、よい方向と理解する。

(部会員) 周産期についても、但馬圏域内の役割分担、体制について、豊岡病院、八鹿病院を中心に但馬全体で議論する旨を計画に落とし込めばよい。

○医師確保について

(連絡会議構成員) 八鹿病院から提出した意見は、一言で言うと医師確保を何とかして欲しいということになる

個々の努力には限界があり、全県レベルでの医師采配の配慮をお願いしたい。

(連絡会議構成員) 県養成医師でも、但馬に定着する確率の高いのは但馬出身の養成医師である。地域の皆が彼らを応援する姿勢を示すことが大事。

○公立病院の人事採用等の一元化について

(部会員代理) 八鹿病院で採用した医師を、村岡病院に異動させることも難しい。県で養成医師を何とか但馬に派遣するシステムを作って欲しい。

(連絡会議構成員) 国の地域偏在対策の中で都道府県に権限を移すという形で議論が進んでいる。

議論に出ている緊急的対策の地域枠の派遣は、県養成医師であり、都道府県に主体的に動いて欲しいのが但馬の思いである。

(部会員) 窓口を一元化するには、どういう医者に対して一元化するかをきっちり決めておかないといけない。

例えば県の養成医師を相手にするとか。

医師を強制的に動かすことは難しいし、他所の病院に手を突っ込むことは、なかなかできない。

(部会員) 養成医師は今後増えるが、義務年限が終わってから定着するかどうか。但馬全体で専門医資格が取れる制度を作るなどオール但馬での人事ができないかと思う。

	<p>○歯科医師会の在宅医療の提案について (事務局) 但馬三歯科医師会の在宅医療等の具体的施策の提案については、計画に落とし込んでよいか。(部会員：異議なし)</p> <p>◇議事1(4)について 事務局より資料に基づき説明後、医療と介護の協議の場として、部会員等に意見を伺った。 【主な意見・質疑】 (部会員) 第7次介護保険計画の作業が始まったばかりなので、この数字が確定した数字ではないことをご理解いただきたい。この数字は、県から報告された試算をそのまま置いている概算数値であり、今後、調査をし、もう少し先にならないと確定しない。</p> <p>〈議事2〉 ◇議事2については、医療機関の経営に関する情報等、公開にふさわしくない事項があるため、医療部会(調整会議)公開要綱第2条に基づき、会議を非公開とした。</p>
<p>協議が調った事項</p>	<p>(なし)</p>
<p>次回以降の予定</p>	<p>平成30年1月25日(木)14:00~16:00 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会兼但馬圏域地域医療構想調整会議と但馬圏域医療機関等連絡会議との合同開催とする。</p>

(別紙)

但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会(地域医療構想但馬圏域調整会議)			
区分	但馬		
	所属	職名	氏名
医師会	豊岡市医師会	会長	田中 洋
医師会	美方郡医師会	会長	浜辺 茂樹
医師会	養父市医師会	副会長	枚田 一広
医師会	朝来市医師会	会長	足立 秀
歯科医師会	豊岡市歯科医師会	会長	武田 憲明
歯科医師会	美方郡歯科医師会	副会長	中田 和明
歯科医師会	南但歯科医師会	専務理事	砂治 國隆
薬剤師会	兵庫県薬剤師会	但馬支部長	守本 典利
看護協会等	兵庫県看護協会	但馬支部地区理事	高階 優子
医療機関	公立豊岡病院	病院長	三輪 聡一
医療機関	公立八鹿病院	病院長	後藤 葉一
消防	豊岡市消防本部	消防長	田邊 光之
福祉・住民団体	但馬ブロック民生委員児童委員連絡会	会長	日下部 謙一
医療保険者	全国健康保険協会兵庫支部	総務グループ長	迫田 佐保里
行政	豊岡市	健康福祉部長	久保川 伸幸
行政	養父市	健康福祉部長	小畑 美由紀
行政	朝来市	健康福祉部長	小谷 則彰
行政	香美町	健康課長	古家 亮
行政	新温泉町	健康福祉課長	森本 彰人
保健所	豊岡健康福祉事務所	所長	柳 尚夫
保健所	朝来健康福祉事務所	所長	長江 利幸
※任期:平成29年4月1日～平成32年3月31日			21